

大森地区優秀作文



税金のおかげ

大田区立大森第八中学校 三年 木村 夏衣

私はこの作文を書くことになるまで、税金との関わりについてあまり考えたことはありませんでした。税金が何に使われているかを考えてすぐに思いついたのは、何か物を買った時に払う消費税でした。他にも学校の授業料、給食費、設備費、警察や消防、公共施設など人々が生活するために必要なことに使われていました。今回税金について調べてみたところ、働いたお給料から引かれる住民税や所得税、車に必要な自動車税、土地や家にかかる固定資産税、財産をもらった時にかかる贈与税、財産を相続する時にかかる相続税、今話題の輸入品にかかる関税など色んな税金があることを知りました。

昨年の夏、私は大田区の海外派遣というプログラムで、アメリカのセラム市を訪れました。そのプログラムにも税金が使われています。私はそのプログラムに参加したことで、今までは全く決まっていなかった自分の将来についてしっかり考えることができました。私は小さい頃から英会話スクールに通っていることもありますが、このプログラムを通じて現地の方々のあたたかさを感じたからこそ、もっと英語を話せるようになりたい、英語系の道に進みたいと思いました。これは、税金を

使って大田区が海外派遣という制度を実施してくれているおかげでできたことです。

もし、大人たちが真面目に仕事をして税金を納めてくれないければ、このような貴重な体験はできなかったと思うし、自分の将来について考える機会にならなかったと思います。実際に、税金を払いたくないからと自分の収入を誤魔化して、正しく納税をしない大人がいるという話をニュースで何度か聞いたことがあります。そのような人が増えてしまったら、私たちがしたような貴重な体験ができなくなってしまうかもしれません。私はそのような大人には絶対になりたくありません。自分が大人になった時も、未来の子供たちが私たちのようにかけがえのない体験ができるような国であって欲しいです。そのためにも私は税金を正しく、責任を持って納められる大人になりたいです。税金をしっかり納め、私たちに素晴らしい体験をさせてくれた大人たちに感謝の気持ちを伝えたいです。

今回学んだ子供たちの成長や国際理解を税金が支えていること、日本を今後支えていく子供たちの教育、成長にとっても大きく関わっていることを、もっと多くの人に知ってもらい正しく納税をして欲しいです。